



サマーチャレンジボランティア

サマチャレ2024報告書

R6.7.21 ▶ R6.8.24

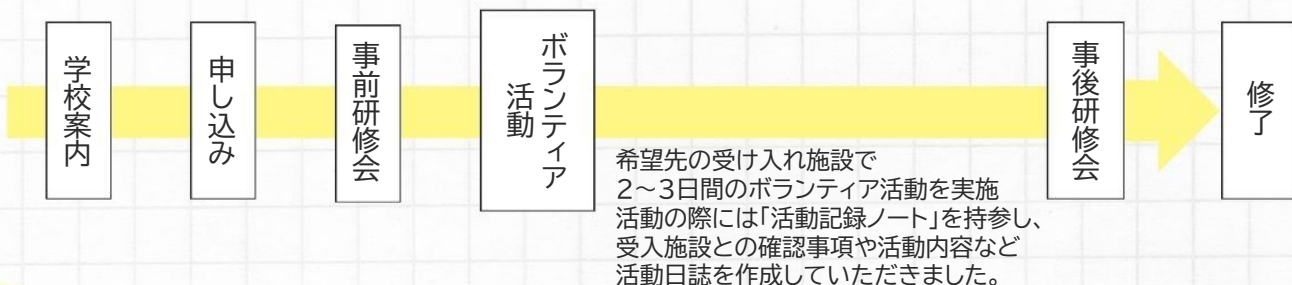


主催 松江市社会福祉協議会（松江市ボランティアセンター）
後援 松江市／松江市教育委員会／松江市社会福祉法人連絡会

サマチャレについて

サマーチャレンジボランティアは、ボランティア活動に興味がある高校生や市民の皆さんが、市内の福祉施設などで実際に活動を体験できるプログラムです。今回は27名の高校生の皆さんが夏休みの期間を利用してプログラムに参加され、高齢者や保育の施設でさまざまなボランティア活動にチャレンジされました。

サマチャレ2024の流れ



参加者情報

▶学年		▶ボランティア活動の経験	
1年生	5名	ない	9名
2年生	4名	ある	18名
3年生	18名		

サマチャレに参加しようと思った動機・きっかけ

- ・ 今までボランティアに参加したことがなく、やってみたいと思っていたから
- ・ 保育の仕事に興味があり、実際に体験してみたいと思ったから
- ・ 自分の時間を誰かを笑顔にするために使いたいから

事前研修会

【日時】

- ・ 令和6年7月21日(日)10:00～11:30 参加人数14名
- ・ 令和6年7月22日(月)18:30～20:00 参加人数14名

【内容】

- ① 講話・説明 事業の流れを確認し、ボランティア活動の基礎的な知識や心構えを学びました
- ② グループ面談 活動先ごとにグループに分かれて施設担当者との面談を行いました。留意事項や活動内容について説明を受けました。



～高齢者施設～

受入施設一覧

- ・ 東寿苑デイサービスセンター、憩いデイサービスセンター
(社会福祉法人 草雲会)
- ・ 特別養護老人ホーム津田の里(社会福祉法人 松豊会)
- ・ 特別養護老人ホームすまいる苑(社会福祉法人 みずうみ)
- ・ 大庭デイサービスセンター(社会福祉法人 敬仁会)
- ・ 香梅の里デイサービスセンター(社会福祉法人 松江市社会福祉協議会)



活動の内容について

▶ どんな活動をしましたか？

レクリエーションで習字クラブの活動があり、そのお手伝いをしました。
また利用者の方の話し相手となって色々な話をしました。



▶ 体験をしてみてどうでしたか？

活動を通じてたくさんコミュニケーションをとることができました。私の声が思うように届かなかった方もおられ、もっと近くで顔を見て会話するよう心がけたいと思いました。

▶ どんな活動をしましたか？

施設の掃除や洗濯、洗い物の手伝いのほか、認知症の方の話し相手となって色々な話をしました。レクリエーション活動では利用者の方とボウリングや風船バレーを楽しみました。



▶ 体験をしてみてどうでしたか？

介護の仕事だけでなく、掃除や洗濯、事務作業など色々な仕事がある事が分かりました。想像していた以上に介護の仕事は大変だと思いました。施設で暮らしている方同士の仲が良く、話を聞いているだけで楽しかったです。

施設の方からのメッセージ

- ・ しっかり目的を持って活動され、受け身にならず積極的に知ろうという姿勢に感心し、心強さを感じました。これからの人生において今回の経験が役に立てれば幸いです。本当にお疲れさまでした。
- ・ 資格を持っていないとできない介護の仕事でしたので、十分に理解することは難しかったかもしれませんが、職員が頑張っている様子を間近で見させていただいただけでも感謝です。
- ・ 最初は戸惑いもあったと思いますが、利用者の方と塗り絵や会話を一緒にする中で楽しい時間を過ごせてもらえたようでよかったです。レクリエーションの準備は大変だったと思いますが頑張って下さったお陰でとても盛り上がり楽しくゲームが出来ました。本当にありがとうございます。

ボランティア体験レポート ～子ども施設～

受入施設一覧

- ・ みどり保育所(社会福祉法人 みどり愛児会)
- ・ みずうみ保育園(社会福祉法人 みずうみ)
- ・ たまちこども園、たまち乳児保育園、たまち母衣保育園
(社会福祉法人 坪内宝珠会)
- ・ 法吉保育所(社会福祉法人 松江福祉会)



活動の内容について

▶ どんな活動をしましたか？

おもちゃ遊びや絵本の読み聞かせをしたり、お昼ご飯を一緒に食べたりしました。また、お昼寝の時間には子どもたちの睡眠チェックをしました。



▶ 体験をしてみてどうでしたか？

はじめは子どもたちと仲良くなれるか不安でしたが、少しずつ距離を縮めていって、子どもたちの方から自分のところに来てくれた時は本当にうれしかったです。

▶ どんな活動をしましたか？

プール遊びの時の着替えの手伝いや声掛け、ブロック遊び、お昼ご飯の準備や片づけをしました。



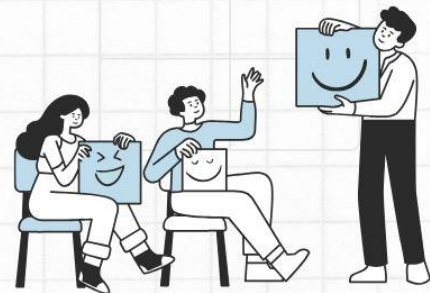
▶ 体験をしてみてどうでしたか？

プール遊びでは水風船を使ってその手触りを楽しんでいて、五感を育む工夫がされていると感心しました。昼食の時間にはご飯がなかなか進まない子がいましたが、「次、どれ食べる？」と聞くと「これ！」と言って食べてくれたので、声掛けが大切だと学びました。

施設の方からのメッセージ

- ・ こどもたちへの関わりや職員への気遣いなど丁寧にして下さり本当に嬉しかったです。コミュニケーションをとることに戸惑いを感じたかもしれませんが、相手の気持ちを理解しようとする気持ちが大切だと思います。今回の経験をこれからは活かしていただけたら幸いです。
- ・ 笑顔の素敵な先生に子ども達も喜んで、たくさん一緒に遊んでもらって嬉しそうでした。積極的に子どもと関わり、率先していろいろなことをやって下さった姿がとても印象的でした。
- ・ 言葉のかけ方や援助の仕方など難しかったと思います。優しい笑顔で子どもたちと接しておられ、子どもたちも安心して過ごすことが出来ました。その笑顔を絶やさず今後もボランティアに参加して下さい。

ボランティア体験レポート ～ふりかえり～



事後研修会

【日時】

令和6年8月24日(土)10:00～11:30 参加人数19名

【内容】

- ① グループに分かれて自身の活動をお互いに報告し、活動を終えての感想を発表してもらいました。施設担当者からは発表内容や活動全体を通して参加者の方へコメントをいただきました。
 - ② サマチャレの全プログラムを修了されたみなさんに修了証を授与しました。
- ※事後研修会に参加できなかった方は別途レポートを作成していただき、プログラムを修了されました。

活動を終えて

- ・ 学校では学べない、とても貴重な経験ができました。ありがとうございました。
- ・ ボランティア活動を通じて新しく学んだことも多く、自分自身の成長につながったと思います。今後も興味のあるボランティア活動に積極的に参加していきたいです。
- ・ 自分が行ったことに対して利用者の方から「ありがとう」と感謝してもらえたのが嬉しくて、またボランティア活動に参加したいと思いました。
- ・ 活動を通じて「自分はこんなにもできるんだ」と新しい発見がありました。大変だったけれど子どもたちと関わってとても充実した3日間になりました。



施設担当者の方から温かいコメント



修了証を手にみんなで記念撮影

編集後記：

今年度のサマーチャレンジボランティアを振り返ると、初日は緊張した様子の高校生たちが、活動を通じて少しずつ自信をつけ、成長していく姿がとても印象的でした。慣れない環境にも関わらず、一生懸命に取り組む姿を見て、私たちも多くの気づきを得ました。このような機会を提供して下さった受入施設の皆さま、そして温かく見守っていただいた利用者の皆さまに心から感謝申し上げます。来年度もさらに充実したプログラムを目指して取り組んでいきたいと思ひます。

令和7年1月
松江市ボランティアセンター